

## 包括評価の範囲の見直しについて（案）

- 前回分科会において、包括評価の範囲の見直しの方針として、下記の通り合意が得られたところ。

- ・ 「基本方針」を踏まえ、今後支払い方式としての拡大を図る中で、継続的にDPC制度導入の影響に関する検証を行っていく観点から、現行の包括範囲については原則として維持する。
- ・ その上で、現行の包括範囲であってドクターフィー的要素が強い、あるいは現行の包括範囲外であってホスピタルフィー的要素が強い個別の診療報酬項目について見直しを検討する。
- ・ 具体的には、こうした方針に沿って、事務局において関係学会等の要望等を踏まえ整理を行い、本分科会において検討する。

- 今回、事務局において、この方針に沿って、別紙要望等について整理を行ったところ、次のものについて対応することが適切と考えられた。

（案）

- ・ 画像診断管理加算について、包括評価の対象外とする。
- ・ 手術前医学管理料および手術後医学管理料について、包括評価の対象とする。

## 包括範囲に係る要望等

※事務局において、包括範囲に係る要望等のみを抜粋したもの。

## 1. 画像診断管理加算

要望元：日本医学放射線学会、日本放射線科専門医会・医会  
内 容：画像診断管理加算をDPC包括から外すべき。

## 2. 動脈造影カテーテル法

要望元：日本医学放射線学会、日本放射線科専門医会・医会、日本血管造影インターベンショナルラジオロジー学会  
内 容：動脈造影カテーテル法における材料代も出来高にすべき。

## 3. 手術時に使用した材料

要望元：日本病院団体協議会  
内 容：手術に使用する特定保険医療材料の保険未収載による高額材料費が算定できないので逆転現象が発生する。また、従来の「24 時間以上体内留置した場合に算定できる」特定保険医療材料も包括評価では術後 2 日目以降の内容表示が不可能のため「24 時間以上使用」の提示が出来ず材料費の算定ができない現状にある。これらの解決策として手術時に使用した医療用認可材料をすべて「出来高」請求が可能にして頂きたい。

## 4. 高額な医薬品・特定治療材料・画像診断

要望元：日本病院団体協議会  
内 容：すでに診療報酬上の対応がとられている悪性腫瘍の化学療法以外にも、高額薬剤を使用する治療、例えば手術 2 日目以降に使用する血液製剤あるいは慢性関節リウマチ治療でのレミケードなど包括化診療報酬点数を著しく逸脱するアウトライヤー（外れ値群）となる薬剤については、速やかに、出来高算定が可能になる方式を要望する。さらに、検査でも、血管内超音波法やポジトロン断層撮影のような、特に高点数となる新しい検査や画像診断法は、出来高算定となることを要望する。

5. 病理組織診

要望元：日本病理学会

内 容：病理検査にかかわる診療報酬を出来高払いにする

6. 手術前医学管理料、手術後医学管理料

提案元：事務局

内 容：検査に係る点数が包括されているが、指導管理等の部にあるため、出来高で算定でき不合理であり、包括の範囲内とすべき。

## 包括範囲に関連する主な項目について

- 画像診断管理加算（1：月1回に限り58点、2：月1回に限り87点）
  - ・ 専ら画像診断を担当する医師（専ら画像診断を担当した経験を10年以上有するものに限る）が、読影結果を文書により主治医に報告することを評価した加算であり、現在は包括対象。
  
- 動脈造影カテーテル法
  - ・ 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合の手技料（1,180点＋640点加算）については、平成16年度改定において出来高とされた。薬剤、材料については包括対象。
  
- 病理学的検査
  - ・ 病理学的検査診断・判断料（病理診断料（255点）および病理学的検査判断料（146点））は、平成16年度改定において出来高とされた。病理学的検査実施料については包括対象。
  
- 手術前医学管理料（手術料を算定した日1日に限り1,310点）、手術後医学管理料（手術料を算定した日の翌日から起算して3日に限り1,340点）
  - ・ 手術前医学管理料、手術後医学管理料ともに、指導管理の部で評価されている項目であるため、現在は出来高。
  - ・ 手術前医学管理料については、硬膜外麻酔、脊椎麻酔又は全身麻酔下で行われる手術の前に行われる定型的な検査・画像診断について、請求の簡素化等の観点から包括して評価したもの。尿検査、血液検査、心電図検査、写真診断等が包括される。
  - ・ 手術後医学管理料については、マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を伴う手術後に必要な医学的管理を評価すると共に、手術後に行われる定型的な検査について、請求の簡素化等の観点から包括して評価したもの。尿検査、血液検査、心電図検査、呼吸心拍監視、経皮的動脈血酸素飽和度測定、終末呼気炭酸ガス濃度測定、中心静脈圧測定、動脈血採取等が包括される。